

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年2月12日(2021.2.12)

【公開番号】特開2020-203142(P2020-203142A)

【公開日】令和2年12月24日(2020.12.24)

【年通号数】公開・登録公報2020-052

【出願番号】特願2020-156278(P2020-156278)

【国際特許分類】

A 6 2 C 37/11 (2006.01)

F 1 6 L 21/06 (2006.01)

F 1 6 L 17/04 (2006.01)

【F I】

A 6 2 C 37/11

F 1 6 L 21/06

F 1 6 L 17/04

【手続補正書】

【提出日】令和2年12月3日(2020.12.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

スプリンクラーであって、

反対に配置される入口および出口を有するボアを画定する本体と、

前記出口に隣接して前記本体から延在する第1のアームであって、前記第1のアームは、前記出口に対して離間した関係で位置付けられる端部を有する、第1のアームと、

前記出口にシール係合する閉鎖部材と、

前記第1のアームの端部と前記閉鎖部材との間に位置付けられるトリガであって、前記トリガは、前記閉鎖部材の開放を可能にする、トリガと、

前記本体を囲繞する溝であって、前記溝は、前記入口と前記出口との間の前記本体内に位置付けられる、溝と、

前記本体から外向きに突出する突起であって、前記突起は、前記本体の周囲に延在するリングを備える、突起と

を備える、スプリンクラー。

【請求項2】

前記突起は、前記溝と前記出口との間に位置付けられる、請求項1に記載のスプリンクラー。

【請求項3】

前記本体の一部は、円筒形表面を備え、前記溝および前記リングは、前記表面の周囲に円周方向に延在する、請求項1に記載のスプリンクラー。

【請求項4】

前記出口に隣接して前記本体から延在する第2のアームであって、前記第1および第2のアームは、合流し、前記出口に対して離間した関係における頂点を形成する、第2のアーム

をさらに備え、

前記トリガは、前記頂点と前記閉鎖部材との間に位置付けられ、前記トリガは、熱に敏

感であり、規定された温度に応答して、前記閉鎖部材の開放を可能にする、請求項 1 に記載のスプリングラー。

【請求項 5】

前記トリガは、易壊性バルブを備える、請求項 4 に記載のスプリングラー。

【請求項 6】

前記トリガは、はんだ連結を備える、請求項 4 に記載のスプリングラー。